

## 『逆巻きにより巻上げワイヤロープが切断』

### ☆災害発生状況

自動車修理工場のリフト基礎工事に使用していた懸垂型ホイスト式天井クレーン（つり上げ荷重 2,827トン）の巻上げ用ワイヤロープが切断，フックブロックが被災者（運転者）の足に落下負傷した。

前々日ピット内作業で揚程下限界まで下ろし，そのまま巻下げボタンを押し続けたため巻上げ用ワイヤロープが逆巻き状態（ヨーヨーの原理）となっていたと思われる。

被災者はクレーン運転の教育を受けておらず知識がないため，押しボタンの「巻上げ・巻下げ」が逆になっていた事を不思議に思いながら使用していた。フックに掛かった玉掛け用ワイヤロープを外すためペンダントスイッチの巻下げボタンを押し続けたところ，巻過ぎ状態となり切断，フックブロックが落下

負傷した。

### ☆災害発生の原因

1. 無資格者がクレーン操作及び玉掛け業務を行った。
2. 揚程の下限界を超え逆巻き状態になったことに気付かず使用した。
3. 巻過ぎ防止装置等について，定期自主検査及び作業開始前点検を実施していなかった。

### ☆再発防止対策

1. クレーン作業（運転業務，玉掛け業務）は有資格者に行わせること。また，必要により再教育等を実施したうえで従事させること。
2. 定期自主検査，作業開始前点検を確実に実施し，異状を認めたときは，直ちに修理すること。

逆巻の切断パターン

